

投稿テーマ **人生の大先輩へ、伝えそびれた「ありがとう」**

私のおばあちゃんは物心つく前に亡くなったそうなので、私にとってのおばあちゃんは母です。ずっと母でいると思ったのに、私に子どもができるにあつという間におばあちゃんに変わりました。いつも助かっているよ。おばあちゃんにいてくれてありがとう。
投稿者 わかめ10号さん

20代の頃、舞台美術を手がける先生にくっついてお手伝いをしていいた時期が。ぶきつちよなくせに意地だけは強い私を県内外、果てはモスクワにも連れて行ってくれました。「ものを作る人間はね、いつでも好奇心を持たなくちゃダメだよ。仔犬がなんでも興味持つみたいだね」。亡くなる前、入院している病院ではベットの上で舞台模型を作っていて、最後まで好きな仕事に没頭していた姿は、痛々しくも思えたけれど、やっぱりすごい人だなあと、時が経つほどに思います。私も紙漉き職人として、もう20年。先生のように、好奇心いっぱい、あたたかく人を育てていける人になりたい、それが私の願いです。
投稿者 小国地域むすび隊 今井千尋さん



地元でイベントを開催する時に、毎回何かしらの形で地元の諸先輩方がお力を貸してくれます。手伝いだったり、協賛だったり、アドバイスなど多岐に渡って。中々お礼を言えていませのでこの場をお借りして、ありがとうございます！
投稿者 こんとさん

反抗期の真っ只中に死んだ俺のはあちゃん。辛辣な言葉もたくさん浴びせたし、言うことも聞かなかった。俺が伝えたいのは「ありがとう」よりこの言葉。「ごめんばあちゃん、ダイスキだったよ」
投稿者 ユーリさん

寄せられた投稿は
つながるラジオで
読まれるかも!

投稿募集 10月の投稿テーマ **今はむかし。私の新米エピソード** [募集期間]9/21~10/20

投稿方法
 投稿フォームを使う QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
 協働センター窓口で投稿する 協働センター窓口に設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

つながるラジオ 週替わりで市民活動団体を紹介するFMながおかのラジオ番組。
 ■放送局:FMながおか(80.7MHz)
 ■放送日:毎週月曜日17時頃~(10分間)※第5月曜日を除く

information センターからのお知らせ

無料で活動紹介・作品展示などに使えます!

協働センターのロビーには無料で利用できる非営利団体の活動発表用の展示スペースがあります。使い方はいろいろ!ピクチャーレールもレンタルできます。サークルの作品展示や、活動紹介などにいかがですか?

- 展示期間:2週間以内(個人の展示はできません)
- 利用申込:協働センター窓口または電話でお申込みください(展示予定日の6カ月前より予約受付)



富貴亀コミュニティセンターのコミセン祭りが協働センターに出張!思い思いの素敵な作品が並びました。まちには器用な人がたくさん!



川口地域の竹田集落による活動紹介。「ぼちぼちやろう」をキャッチフレーズにした、地域外の人を魅了するイベントがたくさん。

らこらま

Racotte vol.58

発行●ながおか市民協働センター

2017
10
FREE

ハンドメイドが得意な移住ママ
保科紗也さん



インタビュー interview



パソコンとカメラと探究心で身近な寺泊を発信する市民編集人
小川隆司さん

●団体PickUp!
「ボランティアで学び合う勉強会!」
WordBench新潟・長岡藩

「災害からの教訓が育む連携」
特定非営利活動法人キズナの森

「地元が生んだ偉人の功績に光を当てる」
ながおか田中長嶺顕彰会

「一粒の種から彩り育む地域の輪」
栃尾ひまわりの会

●長岡企業のソーシャルアクション!
「『働く』と子育てを両立させる環境づくり」
ユニオンツール株式会社/地域開放型事業所内保育所「ゆにおんの杜 南陽保育園」

●みんなの声
投稿テーマ「人生の大先輩へ、伝えそびれた『ありがとう』」

column 市民活動・虎の巻

もっと活動しやすく! 信頼獲得のいろは

摂食障害親の会・向日葵の会 中田登志美さん

摂食障害の娘を持つお母さんたちの心が楽になり、安心して娘に向き合えるようになるため、心の内を語ったり自分自身を振り返ったりする場を設ける活動をしています。このたび10/29(日)に会の発足20周年を記念した公開講座を企画しました。企画を練り上げるにあたり重視したのは、より多くの人に会の目的や信念、活動内容をしっかりと伝え、信頼を得ることです。入念な準備をすることで活動に対する理解や共感が広がる手応えを感じることができました。その結果、長岡市教育委員会からも活動にご理解いただき後援を得ることができました。後援を得ることで、会の活動を効果的にPRするためのチラシ配布など、広報活動をスムーズに行うことにつながりました。

●後援に関する詳細は、市役所各事業担当課へお問合せください。
※この記事はWEBサイト「コライト」からの抜粋です。



コライト、見ないと!

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこらまのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこらま 2017.10.1 (vol.58) **FREE** [発行]ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアール長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail. kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ
FMながおか **80.7MHz** ながおかの市民活動紹介番組 放送時間 10分程度 第5月曜日を除く

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。



保科 紗也香さん〈37歳／パート(飲食・雑貨)〉親子サークルPOP☆STAR

ハンドメイドでみんながハッピー！ “わたし”を活かした暮らしの居場所づくり

「初めての地で周りに知り合いもなく、子育てするにも地元のママ友がいた方が安心と思い、サークルに顔を出し始めました」と話すのは結婚を機に中之島地域に移住した保科紗也香さん。中之島地域を拠点とする親子サークルPOP☆STARに利用者として通い始めるうち、得意のハンドメイドを活かしてワークショップやイベントの企画運営にチャレンジ！今ではサークルの盛り上げ役として欠かせない存在となっています。

同サークルでは、それぞれの経験や持ち味を活かした企画持ち込みを大歓迎。これまでに子どもヘアカット講座や国際交流イベントなど多種多様な企画が生まれました。そんなサークルの後押しを受け、「ハンドメイドでサークルのために何かやれたら」と気軽に気持ちからイベント企画運営を始めた保科さんですが、やり切った際の達成感や誰

かに必要とされる感覚が忘れられず次第にのめり込むように。「子育てにかかりきの日常にも何か『やりきった!』という達成感がなると辛くなってきます。ハンドメイドを通してお客さんが喜んでくれると私も嬉しい。みんなハッピーです」。

ママ同士互いに応援し合う雰囲気があったから「やってみよう」と実現できたお返しと振り返る保科さん。活動を通して地域に対する印象も変わってきたそうです。「近所の繋がりが増えて、子育てや暮らしの不安感は引越してきた当初と比べ少なくなりました。すごく温かい人ばかりなんです」。

趣味のハンドメイドを活かして自身の輝ける居場所を見つけたばかりでなく、繋がりが生まれる暮らしの安心感も得た保科さんのように、「得意を活かす」ことが地域コミュニティに溶け込む第一歩なのかもしれません。



●上：サークルの活動の様子。共同代表の太田さん曰く、片付けからイベント運営まで各自の個性を活かし皆で行うのが同サークルのスタンス。●左下：今年6月25日に行われたコミセン祭りでも、ハンドメイドのワークショップを企画。●右下：長男は今年から幼稚園児に。イベント準備は長男が通っているときなどの時間をうまく使って進めています。

profile

- 1980年 加茂市に生まれる。20代前半までを同市で過ごす。
- 2009年 結婚を機に長岡市へ。数年後、夫の地元である中之島地域へ転居。
- 2014年 長男を出産。当初は隣町の子育て支援センターまで通っていました。
- 2016年 知人からの紹介で親子サークルPOP☆STARを知って以来、同サークルへ通うように。

活動の根っこ

未来へつなぐ
私の居場所♡
☆保科紗也香☆



小川 隆司さん〈58歳／製造業〉野積雪割草を愛する会、赤坂山奉賛会、ツブキ坂を育てる会

地域って面白い！ 地元を掘り起こし発信する市民編集人がつなぐ人の輪

寺泊の風景、風習、イベントなど日々の出来事をレポートしたWEBサイト「さえずりの広場from寺泊」。このサイトを運営するのは小川隆司さん。独学で身に付けたパソコンとカメラの技術を発揮しています。

小川さんが、地域へ目を向けWEBサイトを始めたのは20年前のこと。きっかけは、近所のお寺の住職が地域を出た人向けに発行していた「ふるさとだより」の存在です。故郷の様子を伝える便りは、読者から好評で50年間毎月発行されました。「想いが込められた、このふるさとだよりがあってこそ、このサイトを始めたのだと思っています」。

「たまたま、ほんの少しやる気があるだけ」という小川さんは、活動を始めたころは地域への関心は特別高くなかったそう。しかし、地域情報を求め出かけるうちに、地域の歴史に詳しい人や、山道を整備する人、紙芝居をつ

くる人など地域を盛り上げようとする人たちとの出会いがありました。「私は地域を特別良くしようという大きな志はありません。興味や思いをもって活動する情熱のある人たちと知り合うのが楽しいんです」。

小川さんを突き動かすのは、地域にこんなすごい人があるということを知りたいという気持ちです。そんな想いで取り組む小川さんは、観光パンフレットや、地域の案内看板を制作したりと、活動を広げています。「私の作成した地形図を持って登山道を歩く人や、成人式に着ていく服の参考にサイトを見てくれる人もいます」。周囲の反応がやがていつながっています。さらに、複数の地域活動に加わり、現場で汗を流すプレイヤーでもあります。情報発信と実働部隊の二足のわらじで、これからも寺泊の地域情報を編集し続けていきます。



●上：小川さんが3年がかりでまとめた、紙芝居作家の笹川良子さんの作品「てらどまり民話伝説」と、WEBサイト、そして7作に及ぶ観光パンフレット。詳しい人から原稿を寄せてもらったり、活動を取り上げるなど、周囲との関わりを大切に制作。●左下：地域の住民でつくった寺泊の海辺が一望できる「汐見台」。案内看板や柵を設置し、足元には石を敷き整備。現場で汗を流すことにも積極的。●右下：小川さんが教科書として大事にしている「ふるさとだより」は、地域の出来事を詳細に記載。

profile

- 1959年 寺泊で生まれ育つ。地元で仕事に就き家庭を持つ。
- 1998年 WEBサイト「さえずりの広場from寺泊」運営開始。地域に出向くことや山登りの機会が増えて行く。聖徳寺発行の「ふるさとだより」制作を手伝う。
- 2010年 野積雪割草を愛する会の設立に参画。他にも地域整備活動に積極的に関わる。
- 2011年 自主制作の観光パンフレット「行ってみたい寺泊」シリーズ制作開始。持ち前の探究心とアイデアを活かし活動を展開。現在に至る。

さえずりの広場from寺泊
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~taka55/tp/top.htm>

活動の根っこ

人が学ぶ
Ogawa

団体PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

ワードベンチ WordBench新潟・長岡藩

ホームページを学べるボランティア勉強会



世界で最も使われているホームページの管理システム「WordPress」を学び合う勉強会。長岡では初心者向けに平成28年1月から毎月、参加費無料で開催しています。「気軽に相談できる仲間がいることが嬉しい」と言ってもらえるのがやがて、「技術的なことだけでなく、ホームページを持つ目的を問いつけていきたい」とのこと。学生や子ども達の参加も歓迎しています。

特定非営利活動法人キズナの森

災害からの教訓が育む連携



平成16年の7.13水害により決壊した刈谷田川の河川改修が行われ、埋め立てられた残地に完成した防災公園。ここを管理するのがキズナの森です。他にも7.13水害のメモリアルイベントや婚活イベント「森コン」の企画・運営を実施。人の「キズナ」を育もうと工夫を凝らしたイベントに取り組んでいます。メンバーは刈谷田川に隣接する長岡市中之島地域と見附市今町の住民が中心。行政区を超えた連携があります。

ながおか田中長嶺顕彰会

地元が生んだ偉人の功績に光を当てる



1849年に現長岡市上岡岡地区で生まれ、世界初の椎茸原木栽培や炭焼き技術の改良など、生涯をかけて農山村の産業振興に取り組んだ偉人・田中長嶺の功績を顕彰するとともに、氏が大切にしていた利他の精神を広める活動をしています。日常的な勉強会のほか、企画展示や最期の地である愛知県西尾市の研究グループとの連携事業も。今後は子どもたち向け伝記漫画の制作に向けての取り組みを進めます。

栃尾ひまわりの会

一粒の種から彩り育む地域の輪



平成26年12月の吹雪が来るまで花を咲かせ続けた「ド根性ひまわり」。この種の地域配布をきっかけに街中をひまわりで彩ろうと活動開始。地域に呼びかけ住民や企業など130軒がひまわりを育てています。平成28年からは、種から油が取れる品種の栽培も開始。福祉作業所やあぶらげ店、そば愛好会などと連携し、あぶらげや、天ぶらの揚げ油に加工。見て、食べて、笑顔になれるつながりが広がっています。

長岡企業のソーシャルアクション!

地域活動を支える企業をご紹介します

ユニオンツール株式会社 / 地域開放型事業所内保育所「ゆにおんの杜 南陽保育園」

「働く」と子育てを両立させる環境づくり

平成29年4月より地域開放型事業所内保育所「ゆにおんの杜 南陽保育園」を運営しています。従業員のみならず近隣住民や近隣企業の方々からの利用も受け入れているのが特徴。「働きながら子どもを産み育てていける環境」の整備が、地域活性化や少子化の歯止めに企業が貢献できることと考えています。これからも、働きながらもゆとりある子育てが可能な環境を整えていきます。

